

記者発表



令和7年12月22日

担当課	維持管理課
担当者	木下、川上
電話	435-1131
内線	3219 3235

衛星画像を活用した水道管の漏水調査について

本市では、漏水調査の効率化と漏水箇所の早期発見を図るため、令和7年5月30日から衛星画像を活用した漏水調査を実施しています。

1 調査概要

人工衛星から地表へマイクロ波を照射し、水道水特有の反射波をAI（人工知能）で解析することで、地中約3メートルまでの漏水の疑いのある箇所（POI）を半径100mの範囲で抽出が可能となり、漏水調査の効率化が図れます。従来の漏水調査は、調査員が歩いて平成元年以前に敷設された管路（1,229km）を対象として調査を実施していましたが、衛星画像を活用することで、市内全域の水道管（2,325km）を対象とした調査を行っています。

2 進捗状況について

令和7年8月に衛星画像解析を完了し、漏水の疑いのある箇所（POI）の特定を終え、10月から現地調査を実施しています。11月30日時点で31件の漏水を発見しており、早期の修繕につなげています。

漏水の疑いのある箇所(POI) 半径100m	613箇所	市内全域調査延長の約25%
POI調査完了箇所	134箇所	調査済みの発見数約23%
漏水発見数	31件	

宇宙から地下の漏水が“みえる”しくみ



出典：東亜グラウト工業株式会社公式HP